

教科名	科目名	単位数	担当者	レポート枚数	開講時数	必要面接時数
芸術	音楽 I	2	代田	6	12	8

◇科目の目標

音楽の諸活動を通し「芸術音楽」への理解を深め、基礎的な表現力・鑑賞力を養う。

◇科目の概要

音楽に必要な知識の確認、バロック・古典派時代の音楽鑑賞および、表現活動（実技）。

◇学習の進め方

教科書・学習書・音楽通論（副教材）によりレポートを作成する。

◇履修にあたっての留意点

通年科目ですが、レポート合格締切日までに課題が完了できなかった場合には単位を認定できません。

◇スクーリング計画

回数	開講月日	番号	授業内容	教科書ページ
1	4月21日 22日	①	・楽譜の仕組み…音の高さ① ・バロック音楽を鑑賞しよう①「A. ヴィヴァルディ」 ・校歌を歌おう①	教科書 音楽通論第2章 学習のしおり
2	5月19日 20日	②	・楽譜の仕組み…音の高さ② ・バロック音楽を鑑賞しよう②「G. F. ヘンデル」 ・校歌を歌おう②	教科書 音楽通論第2章 学習のしおり
3	6月30日 7月1日	③	・楽譜の仕組み…音の長さ① ・バロック音楽を鑑賞しよう③「J. S. バッハ」 ・リズムアンサンブル	教科書 音楽通論 第1章
4	10月6日 7日	④	・楽譜の仕組み…音の長さ② ・楽器の世界…リコーダー・ギター ・古典派の音楽を鑑賞しよう①「J. ハイドン」 ・クラシックギターを知ろう	教科書 音楽通論 第1章
5	11月3日 4日	⑤	・楽譜の仕組み…記号① ・古典派の音楽を鑑賞しよう②「W. A. モーツァルト」 ・キーボードを楽しもう	教科書 音楽通論 第3章
6	12月8日 9日	⑥	・楽譜の仕組み…記号② ・日本の伝統芸能…箏・歌舞伎 ・古典派の音楽を鑑賞しよう③「L. v. ベートーヴェン」 ・ミュージックベルを演奏しよう	教科書 音楽通論 第3章

◇テスト範囲 なし

前期	レポート	後期	レポート
----	------	----	------

◇成績評価の方法

スクーリングの出席状況・レポートの完成度によって評価する。

教科書： 教育出版 音楽 I 改訂版 Tutti 307

教科名	科目名	単位数	担当者	レポート枚数	開講時数	必要面接時数
芸術	音楽Ⅱ	2	代田	6	12	8

◇科目の目標

音楽の諸活動を通し「芸術音楽」への理解を更に深め、個性豊かな表現力・鑑賞力を伸長する。

◇科目の概要

音楽に必要な理論の確認、ロマン派・近現代の音楽鑑賞および、表現活動（実技）

◇学習の進め方

教科書・音楽通論（副教材）によりレポートを作成する。

◇履修にあたっての留意点

通年科目ですが、合格締切日までに課題が完了できなかった場合には単位を認定できません。

◇スクーリング計画

回数	開講月日	番号	授業内容	教科書 ページ
1	4月28日 29日	①	・音楽の仕組み…音程① ・校歌を歌おう ・ロマン派の音楽を鑑賞しよう① 「F. シューベルト/F. メンデルスゾーン」	音楽通論 第4章 学習のしおり
2	6月23日 24日	②	・音楽の仕組み…音程② ・キーボードを奏しよう ・ロマン派の音楽を鑑賞しよう② 「R. シューマン/ブラームス」	教科書 音楽通論 第4章
3	7月 7日 8日	③	・音楽の仕組み…音階① ・ロマン派の音楽を鑑賞しよう③ 「P. チャイコフスキー/A. ドヴォルジャーク」 ・クラシックギターを楽しもう	教科書 音楽通論 第5章
4	10月27日 28日	④	・音楽の仕組み…音階② ・ロマン派の音楽を鑑賞しよう④ 「G. プッチーニ/S. ラフマニノフ」 ・ウクレレ Duo	教科書 音楽通論 第5章
5	12月 1日 2日	⑤	・音楽の仕組み…和音① ・近代・現代の音楽を鑑賞しよう① 「C. ドビュッシー/M. ラヴェル」 ・三線を知ろう	教科書 音楽通論 第6章
6	12月15日 16日	⑥	・音楽の仕組み…和音② ・近代・現代の音楽を鑑賞しよう② 「I. ストラヴィンスキー/G. ガーシュイン」 ・ミュージックベルを演奏しよう	教科書 音楽通論 第6章

◇テスト範囲 なし

前期	レポート	後期	レポート
----	------	----	------

◇成績評価の方法

スクーリングの出席状況・レポートの完成度によって評価する。

教科書： 教育出版 音楽Ⅱ 改訂版 Tutti 307

教科名	科目名	単位数	担当者	レポート枚数	開講時数	必要面接時数
芸術	書道 I	2	百瀬か	6	12	8

◇科目の目標

書道の諸活動を通し、書への理解を深め、基礎的な表現活動を養う。

◇科目の概要

漢字の書（楷書・行書・隷書）、仮名の書、漢字仮名交じりの書の学習。

◇学習の進め方

教科書・学習書を中心にレポートを作成する。実技作品の練習と清書の完成。

◇履修にあたっての留意点

通年科目ですが、各レポート合格締切日を厳守。

◇スクーリング計画

回数	開講月日	番号	授 業 内 容	教科書 ページ
1	4 / 21・22	1	書道入門 ・用具の基本、用筆法の基本を学ぶ。 ・私の一年間の目標を半紙に表現した作品制作	p 2～9 p 86、87
2	5 / 19・20	2	書体の変遷 ・五つの書体の変化と特長について学ぶ ・楷書の用筆法について学ぶ ・楷書の古典臨書	p 12～15 p 18、19
3	6 / 30・7 / 1	3	行書の基本を学ぶ ・行書の点画と形について特徴をとらえる ・「蘭亭序」と「風信帖」の書法を学び、臨書	p 32～45
4	10 / 6・7	4	・隷書の基本線・形・筆法を学ぶ ・「曹全碑」の書法を学ぶ	p 50、51
5	11 / 3・4	5	仮名の基本を学ぶ ・仮名の成り立ちを学ぶ ・いろは歌で基本用筆を学ぶ	p 62～79
6	12 / 8・9	6	創作 ・漢字仮名交じりの書の表現方法を学ぶ ・創作作品制作	p 85～101

◇テスト範囲 なし

前期	レポート	後期	レポート
----	------	----	------

◇成績評価の方法

レポート（理論）と実技作品の完成度によって評価する。

教科名	科目名	単位数	担当者	レポート枚数	開講時数	必要面接時数
芸術	書道Ⅱ	2	百瀬か	6	12	8

◇科目の目標

書道の諸活動を通し、書への理解をさらに深め、個性豊かな表現活動を育てのばす。

◇科目の概要

漢字の書（楷書・行書・篆書・隸書・草書）、漢字仮名交じりの書の学習。

◇学習の進め方

教科書・学習書を中心にレポートを作成する。実技作品の練習と清書の完成。

◇履修にあたっての留意点

通年科目ですが、各レポート合格締切日を厳守。

◇スクーリング計画

回数	開講月日	番号	授 業 内 容	教科書 ページ
1	4/28・29	1	篆書の学習 篆書の概略と、基本的な書き方を学ぶ ・金文・石鼓文を学ぶ	p 6～13
2	6/23・24	2	隸書の学習 隸書の発展的な表現と書き方を学ぶ ・乙瑛碑と曹全碑を学ぶ	p 24～29
3	7/7・8	3	草書の学習 草書の概略と、基本的な書き方を学ぶ ・書譜を学ぶ	p 35～37
4	10/27・28	4	行書の学習 王羲之と顔真卿の行書を比較し書法を学ぶ ・集王聖教序と祭姪稿を学ぶ	p 42～49
5	12/1・2	5	漢字の書(創作) 古典臨書や鑑賞の学習を活かして漢字の書を創作する	p 56～59
6	12/15・16	6	漢字仮名交じりの書の創作 校歌の中の好きなフレーズを書で表現する	全般

◇テスト範囲 なし

前期	レポート	後期	レポート
----	------	----	------

◇成績評価の方法

レポート（理論）と実技作品の完成度によって評価する。

教科名	科目名	単位数	担当者	レポート枚数	開講時数	必要面接時数
芸術	美術 I	2	丸林	6	12	8

◇科目の目標

美術の諸活動を通し美術への理解をさらに深め、基礎的な表現力や見方を養う。

◇科目の概要

鉛筆・着彩デッサン、レタリング等基礎的な技術の習得を目標に学習する。

◇学習の進め方

教科書・学習書を中心にレポートを作成する。(作品の完成)

◇履修にあたっての留意点

通年科目ですが、レポート合格締切日までに課題が完了できなかった場合には単位を認定できません。

◇スクーリング計画

回数	開講月日	レポ番号	授業内容	教科書 ページ
1	4/21, 22	1	鉛筆デッサン 「自画像を描く」	p 22, 23
2	5/19, 20	2	細密描写 「桜の葉を描く」	p 16, 17, 18, 19
3	7/14, 15	3	平面構成 「色の基礎学習」	p 44, 45, 46, 47, 48, 49
4	10/6, 7	4	水彩画風 「りんごとコップの着彩デッサン」	P16, 17
5	11/3, 4	5	レタリング 「漢字のデザイン」	P50, 51, 54, 55
6	12/8, 9	6	ルネサンス鑑賞 「アルノルフィーニ夫妻の肖像とミケランジェロのダヴィデ像」	P10, 36, 37, 72, 75, 76

◇テスト範囲 なし

前期	レポート	後期	レポート
----	------	----	------

◇成績評価の方法

レポート作品内容と取り組み姿勢や感想文を総合的に判断して評価する。

教科名	科目名	単位数	担当者	レポート枚数	開講時数	必要面接時数
芸術	美術Ⅱ	2	丸林	6	12	8

◇科目の目標

美術の諸活動を通し、美術への理解をさらに深め、自己の表現活動を高める。優れた作品に接する。

◇科目の概要

デッサン力と構成力を高める。作品のねらいを明確にする。

◇学習の進め方

教科書・面接を中心にレポートを作成する。(作品の完成)

◇履修にあたっての留意点

通年科目ですが、レポート合格締切日までに課題が完了できなかった場合には単位を認定できません。

◇スクーリング計画

回数	開講月日	レポ番号	授 業 内 容	教科書 ページ
1	4/28, 29	1	鉛筆デッサン 「手を描く」	P10, 58, 59
2	6/23, 24	2	木炭画 「コップを描く」	教科書全般
3	7/21, 22	3	イラストレーション 「ひまわりと夏」	P26, 27, 30, 31
4	10/27, 28	4	写真 「動物シルエット」	教科書全般
5	12/1, 2	5	デザイン 「万華鏡模様」	教科書全般
6	12/15, 16	6	イラストレーション 「学習のしおりの表紙絵制作」	P42, 43, 44, 45

◇テスト範囲 なし

前期	レポート	後期	レポート
----	------	----	------

◇成績評価の方法

レポート作品と取り組み姿勢と感想文を総合的に判断し評価する。